オプトアウト書式

①研究課題名	硝子体手術前後の眼圧変動が視機能と眼球形態へ及ぼす影響について
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2016 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までの間に、本学附属病院および共同研究機関(愛知医科大学附属病院、筑波大学附属病院、浜松医科大学附属病院、久留米大学附属病院、富山大学附属病院、長岡赤十字病院、五泉中央病院)において硝子体手術を受けた方、または硝子体手術を併用した緑内障手術を受けた方	
③概要 網膜硝子体疾患に対する硝子体手術は、近年手術器具の進化によって安全に行われるようになりました。しかし手術侵襲の一つとして考えられる術前後の眼圧変動は眼球に大きな負担をかけることが時にあります。その術後の眼圧変動が長期的な視機能や眼球自体に及ぼす影響は明らかになっていない部分が多いです。私たちは今後の診療に役立てるため、硝子体手術を行なった方に対して、手術前後の眼圧や視機能検査、眼科機器で得られた眼球組織の形態を評価することによって、より安全な手術方法を解明することにいたしました。	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	本研究は、硝子体手術前後の眼圧変動と視機能評価、眼球組織形態の関連を明らかにし、手術による侵襲性・安全性の検討、術後視機能予測、術後経過などを解析し、患者さんの「見え方の質」のさらなる向上に寄与します。
⑥研究期間	研究機関の長による実施許可日～2030 年 3 月 31 日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用するデータは、個人が特定されないように無作為に番号を割り付けた対応表を用いて研究で使用します。必要に応じて共同研究機関へ情報提供を行います。方法は、個人情報が保護された状態でパスワード付きエクセルファイルにデータを管理し、CD-R に書き込み郵送、対面での提出、クラウドまたはメールで送付します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、眼圧、視力検査、変視量、画像検査結果、眼軸測定、視野検査
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院眼科 講師　寺島浩子 愛知医科大学附属病院　眼科　坪井孝太郎 筑波大学附属病院　眼科　杉浦好美 浜松医科大学附属病院　眼科　兼子裕規 久留米大学附属病院　眼科　吉田茂生 富山大学附属病院　眼科　林篤志

	長岡赤十字病院　宮島誠 五泉中央病院　佐藤弥生
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院眼科 講師　寺島浩子
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：浜松医科大学医学部附属病院眼科学講座 氏名：鈴木 真聖 Tel：053-435-2256